

第22回「私の提言」募集要領

<要点>

- 社会が変化し、人々の価値観が多様化する中、新たな労働運動のスタイルをめざし、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の価値観を再認識した上で、希望あふれる未来に向けて、連合・労働組合に求められることは何か、具体的な提言を募集する。
- 「応募の対象と方法」、「選考と表彰」、「書き方」などについては、原則昨年と同様とするが、表彰でILEC30周年記念・組合特別賞を増設する。応募方法については、引き続き、応募フォームからの申し込みを原則とする。

応募にあたって

連合と教育文化協会が共催する「私の提言」(注)では、連合運動への提言を募集しており、これまでに671編もの貴重な提言をご応募いただいております。

第22回となる今回は、「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すーの実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと」をテーマに提言を募集し、皆様からの提言を活かしながら、希望あふれる未来に向けて労働運動をさらに前進させたいと考えています。

社会経済が大きく変化を続ける中、連合の運動も不断の変革をはかりながら、すべての働く仲間の期待に答えていく必要があります。連合は、すべての働く仲間から理解と共感を得られる「必ずそばにいる存在」となるべく、組合員の皆様、学生の皆様、様々な方々の幅広い視野でのご意見を求めています。

皆様のご意見を連合に直接提言できる数少ない機会の1つとなります。皆様からのご応募をお待ちしております。

(注) 連合は「山田精吾顕彰会の論文募集」事業を継承し、2004年から「私の提言 連合論文募集」をおこなってきました。山田精吾顕彰会は、連合初代事務局長であり、労働界の統一、発展に生涯を捧げられた故・山田精吾氏の遺志を受け継ぐため、ご遺族から寄贈された資金を基に1997年に設立されたもので、労働運動功労者の表彰や若手活動家の育成などに取り組んできました。

故・山田氏は「理想は高く、目線は低く」の現場からの視点、友愛と連帯に裏打ちされた団結の大切さを持ち続け、労働者の組織化、労働条件の向上などに大きな足跡を残されました。

1. 募集内容

- (1) すべての働く仲間が安心して働き、暮らすことができる社会の実現に向けて、「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すーの実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと」をテーマに募集します。

今、働くものを取り巻く環境は大きく変化しています。働くことの周辺で起こっている困りごとや、その解決のために労働組合に何をしてほしいか、希望あふれる未来にしていくために、労働組合やそのナショナルセンター(全国組織)である連合の役割とは何か、具体的なご意見をお待ちしています。所属組織が取り組んでいる有意義な活動や働く現場の課題意識なども、この機会にぜひお寄せください。

- (2) 提言はオリジナルで未発表のものに限ります。

(新聞、雑誌、書籍、報告書などに発表されたものは応募できません)

連合は結成30年を迎えた2019年に、「たとえ今後どのような社会の変化が起ころうとも、未来に向かって挑戦し、希望あふれる未来へと変えていくことができるのは、私たち自身である」と記した「連合30周年の決意」のもと、中長期的な方針として連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」を策定し、連合に集う仲間はもとより、志をともにする仲間ともに未来を変えていくことを確認しました。

急速な労働人口の減少や超少子高齢化の到来、AI、IoTなどの情報技術革新、産業構造の変化、グローバル経済の影響など、社会・経済が大きな変革を迎え、雇用と生活の不安が増す中で、すべての働く人にとって「必ずそばにいる存在」となり、希望あふれる未来に向けて、連合・労働組合に求められる役割や今取り組むべきことは何か、具体的な提言を募集します。

<提言のキーワード（一例）>

- ・行動変容
- ・デジタル化
- ・貧困と格差
- ・セーフティネット
- ・持続可能な財政・社会保障
- ・労働運動の未来
- ・地域社会
- ・人口減少
- ・ジェンダー平等
- ・多様性
- ・仲間の拡大
- ・労働組合の役割

<所属組織の取り組み>

- ・所属する組織で実績のある取り組みで、他の組織でも展開が可能なもの。

※この他の切り口、働く現場からの視点のご応募も歓迎いたします。

※過去の入賞提言については、教育文化協会のホームページよりご覧いただけます。

2. 応募の対象と方法

(1) どなたでも応募できます。

(学生の方、一般の方など、どなたからの応募も歓迎いたします。組合員、組合役職員、組合OB・OGももちろん応募できます。所属組織の取り組みについては、当該組織からの応募も歓迎いたします。)

(2) 応募は応募フォームからの申し込みを原則とします。

3. 選考と表彰

(1) 選考：第22回「私の提言」運営委員会で審査します。優れた内容の提言は、連合運動への反映・実現をめざします。

※「文章表現」「具体性」「独自性」「社会性」「現実性」を重視して審査します。

<第22回運営委員会の構成>

運営委員長	相原 康伸	教育文化協会 理事長
運営委員	清水 秀行	連合 事務局長／教育文化協会 副理事長
	橋元 秀一	國學院大學経済学部 教授
	金井 郁	埼玉大学人文社会科学部 教授
	大谷由里子	有限会社志縁塾 代表
	吉川 沙織	参議院議員
	田中 智	UAゼンセン 常任中央執行委員
	高橋 英司	電機連合 中央執行委員
	今泉 竜	連合静岡 事務局長（連合東海ブロック連絡会）
	平川 則男	連合総研 専務理事／教育文化協会 理事
	南部美智代	中央労福協 事務局長／教育文化協会 理事

	永井 浩	教育文化協会 専務理事
	河野 広宣	連合 総合組織局長／教育文化協会 常務理事
	山本 昌弘	連合 総合企画局長

- (2) 表彰：優秀賞 1篇 表彰盾と副賞 20万円
 佳作賞 若干篇 賞状と副賞 10万円
 I L E C 3 0周年記念・組合特別賞 1篇 賞状と副賞 5万円
 奨励賞 若干篇 賞状と副賞 3万円
 学生特別賞 1篇 賞状と副賞 月1万円の奨学金×12ヶ月
 ※連合第19回定期大会(2025年10月8日)で表彰予定

☆応募者には、もれなく記念品を進呈(除く、入賞者)。ただし、過去の応募の内容と類似していると判断された場合や著しく文字数が規定より足りない場合などは、審査対象外となり、応募記念品進呈の対象外とさせていただきます。

☆共同で応募された場合、表彰・記念品の進呈は代表者のみに行います。

☆I L E C 3 0周年記念・組合部門特別賞は、応募者が所属する組織で実績のある取り組みで、他の組織でも展開が可能なものが対象となります。

☆学生特別賞は、2025年9月時点で、大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校など、各学校に在籍している方が対象となります。

4. 書き方

(1) 表題

提言内容が分かる具体的な表題を必ず付けてください。

(2) 本文

- ①ページ設定はA4縦で、文章は日本語・横書きとしてください。
- ②字の大きさは11ポイントとしてください。
- ③ページ番号を中央下に付してください。
- ④字数は、「6,000～8,000字程度」を目処に、「上限10,000字」とします。(本文の最後に概ね何字かを記入してください。Wordの場合、「文字カウント」機能で「テキストボックス、脚注、文末脚注を含む」「スペースを含めない」文字数とします)

(3) 図表・参考文献

- ①図表の下に出所を必ず明記してください。
- ②他の文献から引用する場合は、引用箇所にかぎ括弧をつけ、通し番号を記し、最後に一括して出典を注記してください。

※上記規定を逸脱する場合は審査対象外となり、応募記念品贈呈の対象外となりますのでご注意ください。

5. 応募者略歴や連絡先など

(1) 提言のほかに、下記の点を明記した別紙を添付してください。

- ①氏名(本名)・ふりがな、現職(所属・役職名、学生の場合は学校名・学年など)、略歴【100字以内】(組織応募の場合は組織名を明記してください)
- ②住所、電話番号、E-mailなどの連絡先(共同応募と組織応募の場合は、必ず代表者名と連絡先を明記してください)
- ③「私の提言」の募集を知った媒体(教育文化協会のホームページ、チラシなど)

(2) 応募の際にいただいた個人情報は、提言募集以外での目的には一切使用いたしません。入賞提言は、「入賞提言集」および教育文化協会のホームページに掲載いたします。その場合、応募提言および氏名、現職、略歴のみを公表いたします。

- (3) 入賞後の提言の改変は禁止いたします。
(4) 入賞提言の著作権は日本労働組合総連合会（連合）に帰属するものとします。

6. 応募締切 2025年7月22日（火）

7. 発表 2025年10月1日（水）予定
※教育文化協会ホームページにて入賞者名・提言タイトルを発表し、追
って入賞提言を全文掲載いたします。

8. 応募先・問い合わせ先

■公益社団法人 教育文化協会 第22回「私の提言」募集係

応募先：

応募フォーム：<https://www.rengo-ilec.or.jp/event/ronbun/bosyu/>

※応募は応募フォームからを原則とします。

問い合わせ先：

電話 03-5295-5421

FAX 03-5295-5422

メール info-ilec@sv.rengo-net.or.jp

以上